



## 【戦評シート】

平成 16 年 5 月 3 日 ( 月 )	協会名： 能代市 バスケットボール協会		
場 所： 能代市総合体育館	記入者： 梅田 尚洋		
チームA 新潟商業高校 90	$\left\{ \begin{array}{l} 22-17 \\ 15-27 \\ 21-25 \\ 32-13 \end{array} \right\}$	82	チームB 松江東高校

スターター	チームA： #4佐々木、#5小沢、#6店橋、#7齊藤、#11坂上
	チームB： #4安部、#6佐藤、#7青砥、#9林、#13永田
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )
	チームB： <input type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )

第1Q、新潟商は#11 坂上が連続得点し、その後も#4佐々木、#5小沢が得点を重ね、リズムをつくろうとする。一方松江東は、#4安部を中心に#13 永田、途中出場の#17 中林が得点。必死にディフェンスからの速攻で加点する。新潟商 22-17 松江東で第1Q 終了。

第2Q は、一転して松江東ペース。新潟商のターンオーバーを誘い連続して速攻を決め、主導権を握る。一方、新潟商は、#4佐々木が3P を2本決め、反撃を開始する。しかし、松江東は試合の流れをしっかりとつかみ、着実に得点。徐々に点差を広げ、新潟商 37-44 松江東で前半を折り返す。

第3Q、松江東の勢いは止まらず、#17 中林の3P がテンポよく決まり、差を広げていく。新潟商は必死にディフェンスを頑張るが、松江東の3P、ドライブシュートを止められない。松江東はこのクォーターだけで 5 本の3P を決める。これに対し、新潟商も#4佐々木、#5小沢を軸に食い下がるが、なかなか差は縮まらず、新潟商 58-69 松江東で第3Q 終了。

第4Q、新潟商も反撃に出る。#5小沢がゴール下をねじ込み追いあげを図る。一方、松江東は第3Q まで決まっていたシュートが、新潟商の激しいディフェンスの前に外れ出し、試合の流れは新潟商に傾く。松江東はファールが重み、攻守のリズムも悪くなってしまう。新潟商は着実に攻め、ついに残り3分、#4佐々木の3P、#6店橋のアウトサイドで一気に逆転する。新潟商はその後もフリースローを確実に沈め、結局そのまま逃げ切る形となった。終盤、手に汗握るゲームであった。新潟商の最後まで勝負をあきらめない粘り強さが光った。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。